

# 賞味期限の超過した食品を安全・安心に消費できる期限「あんしん期限」認証を前提とする「生活応援食品」の流通システム構築と、その普及に関する社会心理学的検証 (受託者 公益社団法人日本非常食推進機構)

未利用食品を寄付・提供者がフードバンク事業者等へ寄付を行いやすい体制づくりと食品試験検査による安全性確認を前提とした「あんしん期限」という消費の目安認証方法を確立し、社会福祉協議会やフードバンク等を通じた「生活応援食品」と称する生活困窮者支援モデルとその社会実装に向けた具体的な取引システムを確立することを目的とする。

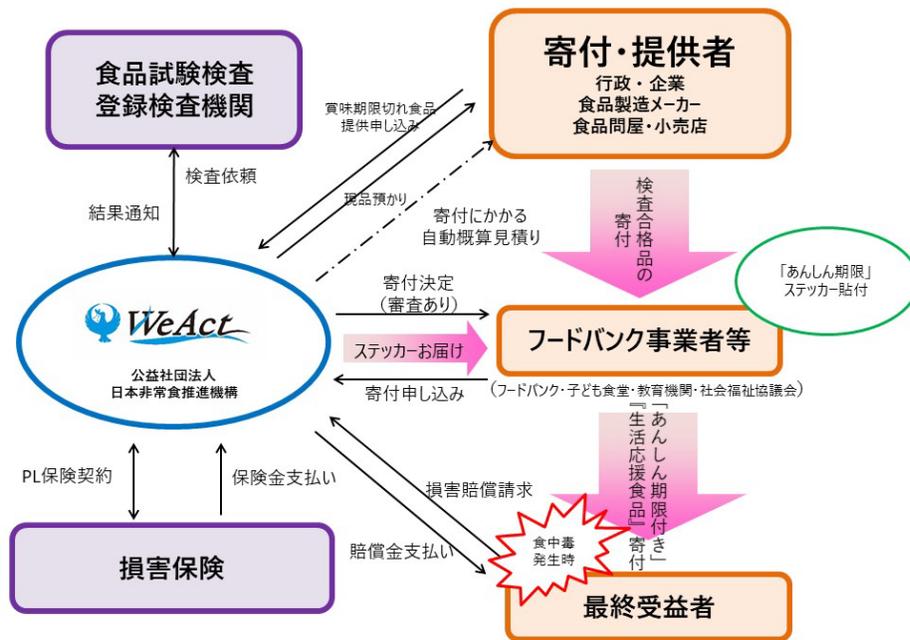
## 本概要書における賞味期限間近または超過した対象食品及び「生活応援食品」対象事業

- (1) 対象食品 防災備蓄食、レトルト食品等の長期保存食
- (2) フードバンク、こども食堂、社会福祉協議会などの非営利活動団体が行う非営利活用へのみ使用（無償配布）

## 「あんしん期限」認証及び、「生活応援食品」流通のイメージ

### あんしん期限付き食品 フロー図

WeAct 公益社団法人日本非常食推進機構



## 事業内容1 賞味期限の超過した食品流通システム構築

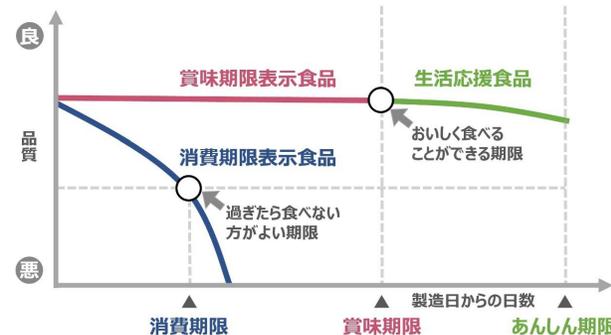
### 賞味期限切れ後の食べきる目安

(適切な環境下で保管されていたことが確認された食品の場合)

安全係数が0.9であると想定し、賞味期限(月数)に0.1(=10分の1)をかけ算する。さらに、2分の1をかけ算して半分の期間とした。  
災害用食品の賞味期限が3年なら、食べきる目安は3年(=36カ月)×10分の1×2分の1=1.8カ月となりおよそ2カ月。5年(=60カ月)なら、食べきる目安は3カ月となる。

$$\text{賞味期限後の食べきる目安(月数)} = \text{賞味期限(月数)} \times 1/10 \times 1/2$$

### 消費期限,賞味期限,あんしん期限のイメージ



- 適切な環境下で保管されていたかどうかを確認するための食品試験検査の実施
- 同一保管場所からの検体数…5検体以下
- 生産物責任賠償保険に加入し、万が一の事故に対応する。

# 賞味期限の超過した食品を安全・安心に消費できる期限「あんしん期限」認証を前提とする「生活応援食品」の流通システム構築と、その普及に関する社会心理学的検証

## 食品試験検査にて確認すべき項目

品目	検査項目	判定結果
無菌包装米	一般細菌数(生菌数) 大腸菌群 クロストリジウム属菌 官能検査(外観、色味、臭気)	細菌数(生菌数)は、検体1gにつき10万個以下 大腸菌群陰性 クロストリジウム属菌陰性 官能検査は、外観に容器破損、膨張等の異常なし、色味及び臭気に異常なし
アルファ化米 (あべかわもちも含む)	一般細菌数(生菌数) 大腸菌群 官能検査(外観、色味、臭気)	細菌数(生菌数)は、検体1gにつき10万個以下 大腸菌群陰性 官能検査は、外観に容器破損、膨張等の異常なし、色味及び臭気に異常なし
缶詰パン	細菌試験 官能検査(外観、色味、臭気)	発育し得る微生物陰性 官能検査は、外観に容器破損、膨張等の異常なし、色味及び臭気に異常なし
レトルト食品 (容器包装詰加熱加圧殺菌食品)	細菌試験 官能検査(外観、色味、臭気)	発育し得る微生物陰性 官能検査は、外観に容器破損、膨張等の異常なし、色味及び臭気に異常なし
ビスケット類	一般細菌数(生菌数) 大腸菌群 過酸化価(POV)及び酸化(AV) 官能検査(外観、色味、臭気)	細菌数(生菌数)は、検体1gにつき10万個以下 大腸菌群陰性 製品中に含まれる油脂の酸化が3を超え、かつ、過酸化価が30を超えるものであってはならない。 製品中に含まれる油脂の酸化が5を超え、又は過酸化価が50を超えるものであってはならない。 官能検査は、外観に容器破損、膨張等の異常なし、色味及び臭気に異常なし
ミネラルウォーター(殺菌又は除菌を行ったもの)	大腸菌群 官能検査(外観、色味、臭気)	大腸菌群陰性 官能検査は、外観に容器破損、膨張等の異常なし、色味及び臭気に異常なし
インスタントみそ汁	細菌数(生菌数) 大腸菌群 官能検査(外観、色味、臭気)	細菌数(生菌数)は、検体1gにつき10万個以下 大腸菌群陰性 官能検査は、外観に容器破損、膨張等の異常なし、色味及び臭気に異常なし
保存用缶入りジュース	大腸菌群 官能検査(外観、色味、臭気)	大腸菌群陰性 官能検査は、外観に容器破損、膨張等の異常なし、色味及び臭気に異常なし

■食品試験検査に合格した食品に貼付けするステッカー



■生活応援食品と貼付けの様子

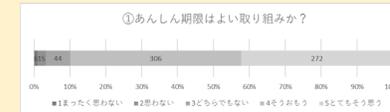


## 事業内容2 受益者における心理学的検証

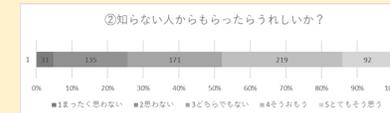
あんしん期限を付与された「生活応援食品」を、フードバンクや社会福祉協議会の職員及び、最終受益者がどのように感じるかということ、取り組みへのモチベーション、受益者が感じるスティグマ(恥・不名誉な烙印)等、社会心理学的なアプローチにより検証する。

### <調査内容>

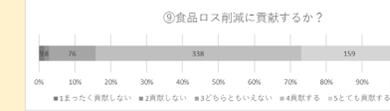
あんしん期限の設定について、良い取り組みかどうかを聞いたところ、有効回答数643のうちの272件(42%)が「とてもそう思う」、306件(48%)が「そう思う」とポジティブな回答を示した。



しかし、あんしん期限付きの商品を知らない人からもらったと仮定すると、うれしいと感じる人は、有効回答数648のうちの219件(34%)が「そう思う」、92件(14%)が「とてもそう思う」とポジティブな回答が半減した。



最後に、食品ロス削減の貢献に関する率直な意見を聞いたところ、いずれも大半がポジティブな回答を示した。あんしん期限認証の取り組みは、社会活動としては認められる可能性が示された。



## 事業内容3 提供・寄付者の寄付を行いやすい体制(自動概算見積り機能等)構築



- 寄付・提供者が寄付を行いやすい体制作り。寄付に係る送料等の概算費用自動見積りを作成し、寄付にかかるまでの手続き日数の短縮。
- データを蓄積し、適切なマッチング先をみつける。
- 生産物責任賠償保険に加入し、万が一の事故に対応する。